

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月13日

上場取引所 JQ

上場会社名 岡藤ホールディングス株式会社
 コード番号 8705 URL <http://www.okato-holdings.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 松井 政彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 中村 元治

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

TEL 03-5543-8705

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	3,176	△3.1	△476	—	△449	—	△280	—
21年3月期第2四半期	3,277	△13.6	△955	—	△784	—	△941	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△32.12	—
21年3月期第2四半期	△107.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	35,851	7,166	18.0	736.61
21年3月期	37,321	7,316	17.5	747.70

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 6,440百万円 21年3月期 6,537百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,697	19.4	144	—	262	—	100	—	11.52

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 9,965,047株 21年3月期 9,965,047株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 1,221,745株 21年3月期 1,221,745株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 8,743,302株 21年3月期第2四半期 8,743,302株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジアや米国向けの輸出が増加したことや、鉱工業生産が落ち込みの反動から回復したこと、加えて公共投資による経済対策効果等もあり、持ち直しに転じる動きも見られましたが、企業収益の落ち込み等から設備投資が停滞し、個人消費も一部で回復の動きが見られたものの、雇用と所得環境が一段と厳しさを増しており、依然として弱含みでの推移となりました。

商品市況は、世界的には貴金属、エネルギーを中心として回復局面を迎えましたが、国内市場は低調に推移し、全国市場売買高は33,253千枚（前年同期比64.7%）となりました。

証券市況は、主要市場を中心に、エマージング市場を含め世界的に回復傾向を辿りましたが、国内市場は低調な伸びにとどまりました。

為替市況は、欧州通貨が対ドルで上昇傾向となり、ドル安基調の中で次第に円高傾向が強まりました。

このような経済状況の中、当社グループは、多様化する顧客の資産運用ニーズを満たすべく金融サービスの提供に努めてまいりましたが、受取手数料は2,584百万円（前年同期比95.6%）、売買損益は238百万円（同205.4%）となり、営業収益は3,176百万円（同96.9%）となりました。

営業費用は、前期に実施した店舗統合等の効果やグループを挙げて経費節減に努めたこと等により3,653百万円（同86.3%）となりましたが、営業損失が476百万円（前年同期は955百万円の営業損失）、経常損失449百万円（前年同期は784百万円の経常損失）となり、四半期純損失は280百万円（前年同期は941百万円の四半期純損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,470百万円減少し35,851百万円となりました。これは、保有有価証券700百万円等の増加がありましたが、現金及び預金が525百万円、委託者先物取引差金が526百万円減少したことや投資その他の資産のその他に含めております投資不動産が737百万円減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて1,320百万円減少し28,684百万円となりました。これは、匿名組合運用に関連して1年内償還予定の社債1,790百万円、預り証拠金代用有価証券697百万円等の増加がありましたが、預り証拠金が3,439百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度に比べて149百万円減少し7,166百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が189百万円増加したものの、四半期純損失280百万円計上したことにより利益剰余金が280百万円減少したことや少数株主持分が52百万円減少したこと等によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ253百万円減少し2,817百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、つぎのとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果使用した資金は920百万円（前年同期は432百万円の使用）となりました。これは、委託者先物取引差金（借方）の減少526百万円、未収入金の減少368百万円、短期社債の増加2,000百万円等の資金増加要因があった一方で、税金等調整前四半期純損失378百万円を計上したほか、預り証拠金の減少3,436百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果獲得した資金は947百万円（前年同期は26百万円の使用）となりました。これは、投資有価証券の売却による収入358百万円や投資不動産の売却による収入691百万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は252百万円（前年同期は2,301百万円の使用）となりました。これは、短期借入による収入が3,767百万円あった一方で、短期借入金の返済による支出3,533百万円、長期借入金の返済による支出175百万円、社債の償還による支出310百万円等があったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成21年5月15日付当社「平成21年3月期決算短信」にて発表いたしました平成22年3月期の第2四半期累計期間の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、平成21年11月12日付で開示いたしました「平成22年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

投資活動によるキャッシュ・フローの「貸付の回収による収入」は、前第2四半期連結累計期間は「その他」に含めて表示しておりましたが、金額的重要性が増したため区分掲記しております。

なお、前第2四半期連結累計期間において「その他」に含まれている「貸付の回収による収入」は、18,904千円であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,333,000	4,858,085
委託者未収金	141,083	148,416
有価証券	157,968	173,307
商品	112,520	115,438
保管借入商品	30,954	38,275
保管有価証券	3,704,433	3,003,825
差入保証金	16,197,962	16,331,914
信用取引資産	680,602	386,591
信用取引貸付金	667,517	370,175
信用取引借証券担保金	13,085	16,416
金銭の信託	827,237	941,491
顧客分別金信託	490,000	550,000
預託金	435,000	453,000
委託者先物取引差金	1,294,641	1,821,460
貸付商品	20,391	—
繰延税金資産	40,436	44,982
その他	1,002,262	1,357,901
貸倒引当金	△5,711	△18,212
流動資産合計	29,462,782	30,206,478
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,299,271	1,326,498
減価償却累計額	△727,397	△740,644
建物(純額)	571,873	585,854
土地	1,824,892	1,759,787
その他	782,336	879,031
減価償却累計額	△458,903	△555,123
その他(純額)	323,432	323,908
有形固定資産合計	2,720,198	2,669,550
無形固定資産		
電話加入権	76,187	76,575
ソフトウェア	300,007	168,458
その他	3,971	4,239
無形固定資産合計	380,167	249,274
投資その他の資産		
投資有価証券	1,155,664	1,275,399
出資金	88,775	86,575
破産更生債権等	482,306	516,384
役員長期貸付金	411,921	423,673

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
長期差入保証金	882,763	910,034
会員権	201,653	201,653
繰延税金資産	14,559	14,977
その他	490,476	1,198,704
貸倒引当金	△439,468	△430,877
投資その他の資産合計	3,288,651	4,196,524
固定資産合計	6,389,017	7,115,349
資産合計	35,851,799	37,321,827
負債の部		
流動負債		
短期借入金	968,850	734,825
1年内返済予定の長期借入金	120,000	260,800
1年内償還予定の社債	※1 2,310,000	520,000
借入商品	318,954	329,275
未払法人税等	29,329	42,869
未払消費税等	26,001	32,631
預り証拠金	16,512,725	19,952,319
預り証拠金代用有価証券	3,409,861	2,712,825
信用取引負債	199,050	289,228
信用取引借入金	185,965	272,827
信用取引貸証券受入金	13,085	16,401
未払金	210,152	158,430
賞与引当金	52,270	56,935
役員賞与引当金	—	2,505
訴訟損失引当金	167,600	172,700
その他	2,041,435	2,067,900
流動負債合計	26,366,230	27,333,248
固定負債		
社債	150,000	250,000
長期借入金	400,000	420,000
退職給付引当金	498,958	481,301
役員退職慰労引当金	431,380	483,613
負ののれん	523,093	599,872
繰延税金負債	2,150	67,190
その他	158,364	117,513
固定負債合計	2,163,948	2,419,492
特別法上の準備金		
商品取引責任準備金	152,966	250,417
金融商品取引責任準備金	1,831	2,569
特別法上の準備金合計	154,797	252,987
負債合計	28,684,976	30,005,728

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000,000	5,000,000
資本剰余金	2,076,233	2,076,233
利益剰余金	1,423,786	1,704,685
自己株式	△748,570	△748,570
株主資本合計	7,751,448	8,032,347
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	40,858	△148,367
土地再評価差額金	△1,210,191	△1,210,191
為替換算調整勘定	△141,711	△136,342
評価・換算差額等合計	△1,311,044	△1,494,901
少数株主持分	726,419	778,652
純資産合計	7,166,823	7,316,099
負債純資産合計	35,851,799	37,321,827

(2) 四半期連結損益計算書
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業収益		
受取手数料	2,702,800	2,584,069
売買損益	116,031	238,305
その他	458,224	354,296
営業収益合計	3,277,055	3,176,672
営業費用		
取引所関係費	147,283	104,929
人件費	※1 1,855,931	※1 1,741,532
調査費	107,573	96,265
旅費及び交通費	112,069	90,444
通信費	164,271	166,116
広告宣伝費	131,374	99,767
地代家賃	403,926	343,348
電算機費	388,070	224,300
減価償却費	54,570	103,504
賞与引当金繰入額	66,607	52,270
役員賞与引当金繰入額	1,116	—
役員退職慰労引当金繰入額	27,582	28,599
退職給付費用	70,657	78,170
貸倒引当金繰入額	15,204	5,180
その他	686,250	518,751
営業費用合計	4,232,489	3,653,181
営業損失(△)	△955,433	△476,509
営業外収益		
受取利息	15,186	10,469
受取配当金	35,267	13,542
有価証券売却益	104,400	—
負ののれん償却額	62,304	78,211
その他	18,210	25,065
営業外収益合計	235,369	127,289
営業外費用		
支払利息	27,105	22,992
為替差損	3,772	66,473
その他	33,757	10,982
営業外費用合計	64,635	100,448
経常損失(△)	△784,699	△449,668

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	—	23,624
投資有価証券売却益	—	19,347
商品取引責任準備金戻入額	6,686	97,451
金融商品取引責任準備金戻入	14,089	738
貸倒引当金戻入額	5,125	8,244
その他	9,214	18,258
特別利益合計	35,115	167,665
特別損失		
固定資産売却損	6,953	247
固定資産除却損	23,680	16,169
店舗閉鎖損失	16,407	20,091
投資有価証券売却損	817	36,078
投資有価証券評価損	8,188	1,337
訴訟損失引当金繰入額	—	18,100
その他	591	3,733
特別損失合計	56,638	95,757
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純損失 (△)	—	△377,760
匿名組合損益分配額	—	1,021
税金等調整前四半期純損失(△)	△806,223	△378,782
法人税、住民税及び事業税	64,361	28,271
法人税等調整額	57,507	△99,481
法人税等合計	121,869	△71,210
少数株主利益又は少数株主損失(△)	13,574	△26,672
四半期純損失(△)	△941,666	△280,898

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△806,223	△378,782
減価償却費	54,570	103,504
有形固定資産売却損益 (△は益)	6,953	△23,377
固定資産除却損	23,680	16,169
有価証券売却損益 (△は益)	△103,582	16,875
投資有価証券評価損益 (△は益)	8,188	1,337
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△15,000
負ののれん償却額	△62,304	△78,211
受取利息及び受取配当金	△50,454	△24,012
支払利息	27,105	22,992
為替差損益 (△は益)	239	72,222
金銭の信託の増減額 (△は増加)	△7,652	114,254
預託金の増減額 (△は増加)	300,000	18,000
商品取引責任準備預金の増減額 (△は増加)	31,978	13,297
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△34,735	2,975
委託者先物取引差金 (借方) の増減額 (△は増加)	△1,797,346	526,445
委託者未収金の増減額 (△は増加)	44,639	7,044
差入保証金の増減額 (△は増加)	3,987,814	151,998
長期差入保証金の増減額 (△は増加)	18,365	25,217
保管有価証券の増減額 (△は増加)	△301,000	△3,572
貸付商品の増減額 (△は増加)	△511,700	△20,391
保管借入商品の増減額 (△は増加)	△12,040	7,321
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	43,467	△102,823
未収入金の増減額 (△は増加)	99,950	368,782
信用取引資産の増減額 (△は増加)	122,618	△294,010
顧客分別金信託の増減額 (△は増加)	△220,000	60,000
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	△2,029	34,078
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△146,392	△4,665
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	15,499	△3,910
訴訟損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△5,100
短期社債の増減額 (△は減少)	—	※2 2,000,000
未払金の増減額 (△は減少)	76,787	53,179
商品取引責任準備金の増減額 (△は減少)	△6,686	△97,451
預り証拠金の増減額 (△は減少)	△1,851,027	△3,436,789
預り金の増減額 (△は減少)	△21,320	43,127
信用取引負債の増減額 (△は減少)	△192,570	△90,178
借入商品の増減額 (△は減少)	824,805	△10,321
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	118,944	△31,311
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	14,398	17,657
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△431	△52,233
その他	△73,397	132,812
小計	△380,888	△862,848

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)
利息及び配当金の受取額	55,005	27,018
利息の支払額	△26,875	△22,507
法人税等の支払額	△79,547	△62,518
営業活動によるキャッシュ・フロー	△432,305	△920,856
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△72,400	△114,606
定期預金の払戻による収入	572,400	371,909
有形固定資産の取得による支出	△35,768	△159,829
有形固定資産の売却による収入	12,700	157
無形固定資産の取得による支出	△44,853	△168,283
投資不動産の売却による収入	—	691,690
投資有価証券の取得による支出	△455,878	△15,000
投資有価証券の売却による収入	138,967	358,246
会員権の返還による収入	22,000	—
貸付による支出	△245,289	△70,292
貸付の回収による収入	—	52,840
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	16,811
少数株主からの子会社株式の取得による支出	—	△13,608
その他	82,039	△2,660
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,082	947,375
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入による収入	1,530,000	3,767,875
短期借入金の返済による支出	△2,768,100	△3,533,850
長期借入れによる収入	—	15,000
長期借入金の返済による支出	△231,200	△175,800
社債の償還による支出	△690,000	△310,000
自己株式の取得による支出	△54	—
親会社による配当金の支払額	△131,151	—
少数株主への配当金の支払額	△8,274	△8,274
その他	△2,387	△7,010
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,301,168	△252,059
現金及び現金同等物に係る換算差額	74,173	△27,984
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,685,381	△253,524
現金及び現金同等物の期首残高	7,463,951	3,071,176
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 4,778,569	※1 2,817,651

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
<p>※1. 1年内償還予定の社債について 連結貸借対照表の「1年内償還予定の社債」には、次の社債が含まれております。</p> <p>オーアイエム合同会社 第1回社債 2,000,000千円</p> <p>なお、当該社債は、オーアイエムファンドのスキームに組み込まれており、その性格は次のとおりであります。</p> <p>オーアイエム合同会社が今回組成したファンドのスキームは、商法上の「匿名組合」を利用したものであり、オーアイエム合同会社は、商法上の匿名組合の営業者となり、以下のようなスキームによりファンド運用を行っております。</p> <p>① オーアイエム合同会社が社債を発行し、その社債引受会社より資金を得ます。</p> <p>② 匿名組合員との間で匿名組合契約を締結し、その匿名組合員からの出資と上記の社債で得た資金を匿名組合財産として商品先物、有価証券、株価指数先物等に投資を行います。</p> <p>③ 商品先物、有価証券、株価指数先物等の投資により生じた損益の分配を行います。</p> <p>今回の社債の発行による資金につきましては、当該匿名組合財産を構成しております。</p> <p>また、社債の引受会社は、オーアイエム合同会社第1回社債総額引受契約に基づき、社債発行資金をもって商品先物、有価証券、株価指数先物等に投資を行うため、商品相場又は株式相場の変動等その他の指標の変動による運用資産の下落により、又は発行会社、ファンドマネージャー、ブローカー等の倒産や業務・財産状況の変化により、匿名組合出資金額を超える損失が発生した場合には、元本欠損が生じるおそれがあることについて了解しております。</p> <p>従いまして、当該社債に関しましては、ファンドの運用が悪化したこと等により、社債元本の一部あるいは全部の償還が不可能な状態に陥った場合のリスクは、引受会社が負うものであり、当社グループがそのリスクを負うものではありません。</p> <p>なお、上記のファンドスキームに関しまして、当社グループは130,000千円の匿名組合出資をしておりますので、当該匿名組合出資額の範囲内において運用リスク等を負っております。</p>	<p>1. _____</p>

(四半期連結損益計算書関係)

前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月 30 日)																				
<p>※ 1. 人件費の内訳は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">役員報酬</td> <td style="text-align: right;">225,793千円</td> </tr> <tr> <td>従業員給与</td> <td style="text-align: right;">1,385,981</td> </tr> <tr> <td>退職金</td> <td style="text-align: right;">2,296</td> </tr> <tr> <td>福利厚生費</td> <td style="text-align: right;">241,861</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,855,931</td> </tr> </table>	役員報酬	225,793千円	従業員給与	1,385,981	退職金	2,296	福利厚生費	241,861	合計	1,855,931	<p>※ 1. 人件費の内訳は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">役員報酬</td> <td style="text-align: right;">248,491千円</td> </tr> <tr> <td>従業員給与</td> <td style="text-align: right;">1,252,617</td> </tr> <tr> <td>退職金</td> <td style="text-align: right;">25,662</td> </tr> <tr> <td>福利厚生費</td> <td style="text-align: right;">214,761</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,741,532</td> </tr> </table>	役員報酬	248,491千円	従業員給与	1,252,617	退職金	25,662	福利厚生費	214,761	合計	1,741,532
役員報酬	225,793千円																				
従業員給与	1,385,981																				
退職金	2,296																				
福利厚生費	241,861																				
合計	1,855,931																				
役員報酬	248,491千円																				
従業員給与	1,252,617																				
退職金	25,662																				
福利厚生費	214,761																				
合計	1,741,532																				

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月 30 日)																				
<p>※ 1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">5,534,770千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が 3 か月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">△92,400</td> </tr> <tr> <td>商品取引責任準備預金</td> <td style="text-align: right;">△263,800</td> </tr> <tr> <td>担保に供している定期預金</td> <td style="text-align: right;">△400,000</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">4,778,569</td> </tr> </table> <p>2. _____</p>	現金及び預金勘定	5,534,770千円	預入期間が 3 か月を超える定期預金	△92,400	商品取引責任準備預金	△263,800	担保に供している定期預金	△400,000	現金及び現金同等物	4,778,569	<p>※ 1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">4,333,000千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が 3 か月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">△26,367</td> </tr> <tr> <td>商品取引責任準備預金</td> <td style="text-align: right;">△288,981</td> </tr> <tr> <td>担保に供している定期預金</td> <td style="text-align: right;">△1,200,000</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">2,817,651</td> </tr> </table> <p>※ 2. 営業活動によるキャッシュ・フローの「短期社債の増減額 (△は減少)」について 当社の連結子会社であるオーアイエム合同会社の発行した社債につきましては、注記事項 (四半期連結貸借対照表関係) に記載のとおり、実質的にはファンド運用原資であり、当社グループのファイナンスとしての性格のものではありませんので、営業活動によるキャッシュ・フローに区分しております。</p>	現金及び預金勘定	4,333,000千円	預入期間が 3 か月を超える定期預金	△26,367	商品取引責任準備預金	△288,981	担保に供している定期預金	△1,200,000	現金及び現金同等物	2,817,651
現金及び預金勘定	5,534,770千円																				
預入期間が 3 か月を超える定期預金	△92,400																				
商品取引責任準備預金	△263,800																				
担保に供している定期預金	△400,000																				
現金及び現金同等物	4,778,569																				
現金及び預金勘定	4,333,000千円																				
預入期間が 3 か月を超える定期預金	△26,367																				
商品取引責任準備預金	△288,981																				
担保に供している定期預金	△1,200,000																				
現金及び現金同等物	2,817,651																				

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

当社グループは、①商品先物取引の受託および売買、②商品ファンドの販売、③商品の投資顧問などの商品業務を中心として証券業務および為替業務などを行い、顧客に対して資産運用面で幅広い金融サービスを提供しており、これらの営業活動は、金融その他の役務提供を伴っております。従って、当社グループの事業区分は「投資・金融サービス業」という単一のセグメントに属しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

当社グループは、①商品先物取引の受託および売買、②商品ファンドの販売、③商品の投資顧問などの商品業務を中心として証券業務および為替業務などを行い、顧客に対して資産運用面で幅広い金融サービスを提供しており、これらの営業活動は、金融その他の役務提供を伴っております。従って、当社グループの事業区分は「投資・金融サービス業」という単一のセグメントに属しております。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

全セグメントの営業収益の合計および全セグメントの資産の金額の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

全セグメントの営業収益の合計および全セグメントの資産の金額の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

海外営業収益が、連結営業収益の10%未満のため、海外営業収益の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

海外営業収益が、連結営業収益の10%未満のため、海外営業収益の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

営業収益の状況

当第2四半期連結累計期間における営業収益は次のとおりであります。

1. 受取手数料

区分	金額(千円)	前年同期比(%)
商品先物取引		
国内市場		
現物先物取引		
農産物市場	166,064	62.3
砂糖市場	4,928	34.6
水産物市場	0	3.0
貴金属市場	2,052,954	104.9
アルミニウム市場	10	3.7
ゴム市場	118,020	81.2
石油市場	65,755	97.1
小計	2,407,734	98.2
現金決済取引		
貴金属市場	37,182	79.8
石油市場	15,553	135.4
小計	52,735	90.8
指数先物取引		
天然ゴム指数市場	108	2.6
小計	108	2.6
国内市場計	2,460,578	97.9
海外市場計	15,851	—
商品先物取引計	2,476,429	98.5
商品投資販売業		
商品ファンド	10,347	36.2
商品先物取引計	2,486,777	97.8
為替証拠金取引	13,227	17.9
証券取引	84,064	96.3
合計	2,584,069	95.6

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 売買損益

区分	金額 (千円)	前年同期比 (%)
商品先物取引損益		
国内市場		
現物先物取引		
農産物市場	68,123	—
砂糖市場	△748	—
水産物市場	3	—
貴金属市場	11,459	14.8
ゴム市場	1,632	7.3
石油市場	165,730	—
小計	246,200	—
現金決済取引		
貴金属市場	4,180	—
石油市場	△84,885	—
小計	△80,704	—
国内市場計	165,496	—
海外市場計	△4,842	—
商品先物取引損益計	160,653	—
商品売買取引	18,185	769.4
商品先物取引計	178,839	—
為替証拠金取引	55,469	55.9
証券取引	3,996	4.9
合計	238,305	205.4

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

3. その他

区分	金額 (千円)	前年同期比 (%)
商品投資顧問料等	156,423	56.8
商品ファンド管理報酬等	124,441	83.3
その他	73,432	218.7
合計	354,296	77.3

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。